

(問3) 低炭素型モデルタウン構想について

県と青森市が、同市中心部の青い森セントラルパークに進めている「低炭素型モデルタウン構想」事業をめぐり、青森市議会が同パークを防災のため公有地として継続管理するよう求めた請願を採択しました。

しかし、市長として、用地売却を中止するかどうかは明言を避け、今後の対応については、「県と一緒に進めている事業なので、県と一緒に協議していく」と語っています。

就いては、今後の事業等の進展に伴い、私達宅地建物取引業を営む業者にとっても関心事であります。炭素型（有機化合物の構成に不可欠な、無味・無臭の個体元素）モデルタウン構想は、市の土地・建物の現況を顧みて、今後とも、更に、時間と研鑽<sup>けんさん</sup>を重ねて行くべきではないかと思えます。

従って、私達の見聞を広める為にも、今日までの経過など含めてご意見を拝聴したいと思えますので、宜しくお願いいたします。

《回答》

ただいまの青森セントラルパーク低炭素型モデルタウンの計画事業は中止となりました。

ご質問内容ですが、若干ずれるかもしれませんが、中止となりました計画などにつきまして、お話ししたいと思います。

ご存知の通り、県と市で青い森セントラルパーク、それぞれ協議しております土地の有効活用につきまして、県と市でだいたい20年から計画型モデルタウン構想を検討してまいりました。その中でまず最初に、民間企業などから構成されますモデルタウン構想検討会を民間事業社からきた50社以上の方が会員となり、このモデルタウン構想を作成する為に皆様にいろいろ教を頂きながら進めてきたものであります。進めていくなかで、当然、有識者や地元町内会皆様で構成されます「青い森セントラルパークを考える会」を設置いたしまして構想に於ける、ご意見や賛成されました自治体からご指導・ご意見を頂きながら進めてきたものです。

いろいろな意見を聞きながら進めてきたところで御座いますが、県と市が事業について公募しました所、結果3社提案に対する応募がありまして、それを審査して、優先交渉原案を決定しました。そんな中、ダイワハウスグループさんで8社。4社は県外の企業で4社は市内の企業となります。

その後、原案を受けまして市のホームページ、市民センターで原案をまとめましたのでそれを基にみなさんにご説明します。

市役所内の市議のほうでは職員一人を待機させ、説明・意見を約2週間の

7/1～15 実施してきました。

また、今のご意見や以前からの問題を踏まえ、事業計画を作成するにあたり可能な限りモデルタウン構想に反映させたいと考えておりました、優先交渉権となりましたダイワグループ及び県と一緒に新規問題を進めてきたところでございます。

本年 9 月の青森市議会の第 3 回定例会におきまして、さまざまな意見を頂き議論をしてきたところでございますが、この中で、市議会に対し、青い森セントラルパーク全域を防災の為の公有地として継続して管理する事を求める請願が 9 月 28 日の本会議に於いて採決されたところで、この採決された請願によりますと、青い森セントラルパーク全域を防災の為の固有地として継続して管理していくべきとのことでありまして、市と致しましては、このいろいろと検討を重ねた結果、売却がなかなか難しいということです。

それで市民のご理解は頂けないという考えに至った訳であり、本事業を一緒に進めて参りました県と市とで本事業を中止させて頂いた訳です。

今後につきましては、本事業は中止となりましたけれども、操車場跡地地区の今後の事業につきましては、引き続き検討を進めていく上で考えている次第です。